

## 2017 北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業の開催結果

北東アジア地域の青少年に対して、環境問題に関する意見交換や環境保全活動を体験する機会を提供し、国際交流を通じて、この地域の環境保全に取り組む人材を育成することを目的として、韓国慶尚南道及び富山県の主催により「北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業」を開催しました。

**1 開催期日**：2017年8月17日（木）～18日（金）

**2 開催場所**：大韓民国慶尚南道 統営（トンヨン）市

### **3 主催等**

共催：大韓民国慶尚南道、日本国富山県

主管：公益財団法人環日本海環境協力センター、慶尚南道ラムサール環境財団

**4 参加者**：北東アジア地域の中高生 59名（4か国9自治体）

・日本：6名（富山県6名）

※高岡高校、伏木高校から3名ずつ参加

・中国：10名（遼寧省5名、黒龍江省5名）

・韓国：28名（江原道5名、忠清南道6名、慶尚南道17名）

・ロシア：15名（沿海地方5名、ハバロフスク地方6名、トムスク州4名）

**5 テーマ**：「国境のない自然環境保全活動の実践」

### **6 プログラム内容**

#### **(1) 開会挨拶**

- ・慶尚南道環境山林局環境政策課長 ジョン ヨンジン
- ・富山県理事・生活環境文化部次長 長坂 雄一
- ・慶尚南道ラムサール環境財団代表理事 チョ ヨンパ

#### **(2) 参加者による活動発表**

- ・Save Our Ocean!（富山県）
- ・箱の推測（遼寧省）
- ・環境サークル“美しい地球人（アジイン）”の活動（江原道）
- ・環境保護及び研究に関するエコグループの活動体験から（沿海地方）
- ・廃棄物と環境（ハバロフスク地方）
- ・肩を組んで共に歩む環境守り団（忠清南道）
- ・タンチョウの故郷 仙境扎龍（黒龍江省）
- ・セヴェルスク閉鎖都市内の水資源の環境保護活動（トムスク州）
- ・慶尚南道ラムサール環境財団 チョロク（緑）記者の世界（慶尚南道）

#### **(3) ポスターセッション**

- ・活動報告をまとめたポスターを掲示し、意見交換

#### **(4) 環境保全実習等**

- ・自然（湿地や池、動植物）を活用した排水の浄化設備の視察
- ・草木染め体験

## (5) 環境宣言文発表

### 2017 慶尚南道環境宣言文

「2017 北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業」に参加している中国・日本・韓国・ロシア 4 か国の代表である我々は “国境のない自然環境保全活動の実践” をテーマに、2 日間にわたり自然環境保全活動の経験を共有し、意見交換をした。

また、自然は国境を越えて一つの生態に繋がっていることを深く認識し、我々も自然の中の生態系の一部であることを深く共感した。

現在、北東アジア地域を含めた地球全体では 様々な乱開発、環境汚染、資源枯渇、気候変動、生物多様性の減少などの危機に直面している。このような環境問題は特定の地域や国家に制限されているものではなく、地球全体の脅威として、共に解決していくべきであることを認識し、今回の活動を通じて北東アジア地域の環境保全のために国境を越えた協力の必要性を共感した。

「2017 北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業」に参加している我々は北東アジアの自然環境保全のために以下の 3 つの事を実践することを誓う。

- ・ 自然を保護する生活習慣を習得し、実践していく。
- ・ 我々の周辺で共に生きていく数多い生命に対して関心と愛情を持って保護していく。
- ・ 北東アジア地域は一つの生態系が相互連結していることを認識し、国境を越えて自然環境保全に協力していく。

2017 年 8 月 17 日

北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業参加者一同

## 2017 北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業の開催状況



【会場風景】



【開会挨拶（慶尚南道）】



【開会挨拶（富山県）】



【開会挨拶（慶尚南道ラムサール環境財団）】



【活動発表（富山県からは高岡高校が発表）】



【ポスターセッション】



【環境宣言文発表】



【環境保全実習】

自然（湿地、池、動植物）を活用した  
排水の浄化設備視察



【環境保全実習】

草木染め



【交流会】